

# 私のきもち

市民活動  
コラム

## 薬物依存症

新潟県薬物依存症を抱える家族の会 世話人

小西 憲

上越タイムス

平成20年8月5日

10年ほど前、息子を病院に入院させて帰ってきた女房が涙ながらに話しました。主治医から「息子さんは薬物依存症です。以前、

覚せい剤を使用していたようです」「覚せい剤」私たち夫婦には何のことが解りませんでした。覚せい剤とはテレビの中のことであっ

て、暴力団が使用して、私たち一般人には関係ない物なってしまう、自らが逆に「何でうちの息子が」という思い、混乱したのを覚えていきます。

薬物依存症とは違法薬物(覚せい剤、シンナー、大麻等)、処方薬、市販薬等の摂取をコントロールできなくなる病気。自分で止めよう

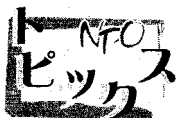
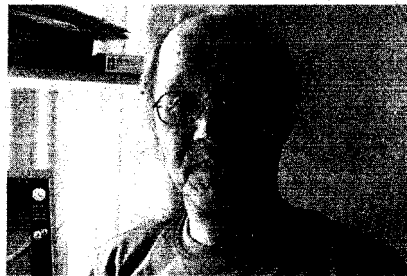
この病気の厄介なのは、病院に入院してもほとんどの場合治らないということです。私たち家族は自分の息子や娘、配偶者等が薬物

依存症に陥ると、例外なく愛情で治そうとします。家族は必死になって、サラ金の整理や事件の後始末などの尻拭いをしますが、本人はよくなるどころかますます悪化させていくのが今の現状です。薬物依存症は世間一般で言う愛情では絶対に治りません。

ではどうするかというと、「突き放し」という作業をやりま。本人を家から追い出すのです。今まで薬によって引き起こされてきた出来事を家族が尻拭いするのではなく、すべて本人に返すことによって自覚させるのです。実際にはその簡単なものではありませんが、この尻拭いをやっている限り、同じ事の繰り返

しが何年も続いていきま。薬物依存症を変えようと思っても、家族の中に行ううちは絶対に変えることは出来ません。先ず家族が考え方を变えることが必要です。そのために私たちは家族会を新潟県で始めて立ち上げました。

ダルク(薬物依存症者の回復施設)の考えを基本に月例会を長岡市で開いていきます。連絡先☎090・8723・3715



高田・直江津ローター

NPO法人 新潟県薬物依存症を抱える家族の会